



Friendship & Exchange

SCOTLAND GAZETTE Vol.16



スコットランドの風

'Gaoth bho Alba' NPO法人 日本スコットランド交流協会ニュースレター 発行責任者: スティーブン・ベーカー 2021.4.25発行



目次

2021年 JSA年次総会のお知らせ	1
SCOTLAND DAY in Tokyo 2021	2~3
Stephen Baker 会長からのメッセージ	4
新駐日英国大使ジュリア・ロングボトム氏就任 松永大介 前総領事と懇談 株式会社トンボ 近藤知之社長と懇談 天皇誕生日記念ビデオ配信 (エジンバラ総領事館)	5
スターリング大学 マコーマック学長 Sir を授与 ベーカー会長と対談 = 杉山文彦氏「キルトの国の進取精神」 奨学生 現地報告 / The Isle of Lewis / 大学紹介	6~7
SCOTTISH SAMURAI AWARD 受賞 Sean Michael Wilson 氏	8
支部長紹介 / Cullen Skink (スコットランド料理) オンライン英会話 / 皆川明氏 展覧会	9
新理事紹介 / 支部活動報告 / 表紙の写真のおはなし	10~11
写真作家 佐藤悠氏からのメッセージ	12
University of Stirling 夏期オンライン英語研修	



2021年 NPO法人 日本スコットランド交流協会 年次総会のお知らせ

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、昨年同様に書面での総会を開催いたします。総会は年に1度、会員の皆様が集う貴重な機会ですので、英国大使館や他会場での開催を模索いたしました。今般の現状を鑑み、大勢が集まった開催を断念せざるを得ないとの判断に至りました。会員の皆様が集う場を設けることができないのは大変残念ですが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。*詳細は別紙をご覧ください

SCOTLAND DAY in Tokyo 2021

3月28日(日) 学士会館で SCOTLAND DAY in Tokyo 2021が開催されました。コロナ禍、開催までには困難が伴いましたが、会場には55名の参加、さらに今回初めて試みたオンラインでの参加は国内外から150名を超えました。

第一部 会長・来賓の挨拶および奨学生の帰朝報告



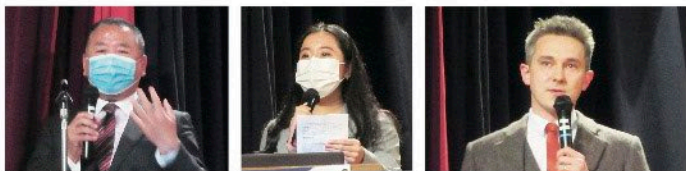
Fiona Hyslop 大臣

古川 俊治 参議院議員

Sue Kinoshita 公使

イベントは、スコットランド自治政府のヒスロップ大臣 (Cabinet Secretary for Economy, Fair Work and Culture) のビデオメッセージで始まりました。大臣は来日を重ねられた経験から、現在の活発な2か国間の文化、ビジネスの交流について語られ、今後JSAには奨学生を中心とした大学間交流、さらなる文化交流への貢献を期待していると述べられました。続いてパーカー会長が今回オンライン配信でスコットランドからも参加可能となったこと、気候変動などの課題での両国の協調について話され、株式会社トンボからの奨学金に対する寛大なサポートに感謝を述べられました。

次にJSA顧問であり参議院議員の古川俊治氏はコロナ禍において国際協調の大切さ、温室効果ガス問題に両国が共通の価値観で協調する必要性などについて話されました。最後に、英国代理大使スー・木下氏が、英国のEU離脱に伴う日英包括的経済連携協定による英国と日本の新たな協力体制について話され、「人同士の繋がり」の大切さを説かれ、その観点からJSAの果たす役割の重要性について触れられました。スコットランドでは、イベント当日が「Neighbours' Day (隣同士で仲良くする日)」であったことから、さらに相互理解を深めようと述べられ、会場は温かい雰囲気になりました。



榎本 将之氏

北村 望氏

Matthew Knowles 氏

続いて2019年度奨学生の榎本将之氏(グラスゴー大学 MBA)と北村望氏(スターリング大学 MSc TESOL)より、スコットランドでの暮らしや、大学院生活での印象深い経験を中心とした帰朝報告がなされました。最後にブリティッシュ・カウンシル駐日代表のMatthew Knowles氏の乾杯によって第2部へと移りました。



第二部 スコットランド文化の鑑賞



Dominic Skelton 氏

第2部は、元エディンバラ総領事田良原政隆氏の艶のある声での「アニーローリー」で幕が開きました。田良原氏は外交官ご退官後プロ歌手へと華麗なる転身をされ、現在は東京・大阪を中心に活躍していらっしゃいます。続いて、ピアニストの永岡靖子氏が今回のSCOTLAND DAYのために作曲された「スコットランド即興曲」とコロナの収束を願って作曲された「冬」の2曲を時に静かに時に力強く演奏され聴衆の感動を巻き起こしました。次にスコティッシュハープの演奏家の松岡莉子氏が「早春賦」「ザウォーターアイズワイド」他2曲を演奏されました。2018年スコットランドで開催のケルティックハープのコンクールで優勝された期待の若手演奏家です。さらに、JSAのバグパイパーである



田良原 政隆氏の熱唱



ケルティックハープ奏者・松岡 莉子氏の名演



ランド北西の大自然豊かな地方 ②ハイランド地方にある「アイリンドナン城」 ③ネス湖 ④グレンフィナン高架橋：映画「ハリーポッター」にも登場した世界最古のコンクリート製高架橋 ⑤エディンバラ近郊フォース鉄橋：日本の技術者 渡邊嘉一がこの橋の設計に深くかかわりスコットランド20ポンド紙幣にその姿を残していることで有名 ⑥V&Aダンディーミュージアム。ロンドンのビクトリア&アルバート博物館の別館、隈研吾氏の設計で2018年オープン ⑦世界遺産登録の街エディンバラ：夏のフェスティバル、冬のクリスマスマーケットなど魅力満載のスコットランドの首都。最後に、名誉会員の田良原氏を始め、永岡氏、松岡氏、Skelton氏、小山氏はJSAの会員です。会員の方々にこれほどの素晴らしいScotlandの文化・伝統を披露していただけるのは協会にとって本当に幸せなことだと思いました。



ご自身が作曲されたスコットランド即興曲を奏でる永岡 靖子氏



Virtual Tour in Scotland
案内 = 小山 舞氏



ブルーベルハイランダーズ
皆さんの熱演



受付の様子(光監事・小根山理事・齋藤監事)



景品を手にする綱島 実氏(左 = 新改理事)



スティーブン・ベーカー会長

✕ SCOTLAND DAY in Tokyo 2021 出演を終えて ✕

素晴らしい会場で、素晴らしい観客の方々の前で演奏でき、大変光栄に思っております。スコットランド即興曲は、3月に入ってから、スコットランドの誇りや、美しい情景を思い浮かべたときにふと頭に浮かんできた曲です。ご紹介頂きました関先生へ心から御礼申し上げます。子供と共にとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。ピアニスト 永岡 靖子

私がJSAに入会させて頂ききっかけが、昨年のSCOTLAND DAYでした。ホームに帰ってきたような温かさを日本で感じられるこのイベントで、今年も演奏させて頂けた事をとても嬉しく思っています。スコットランドとの繋がりを日本で持てる喜びを感じながら、演奏していました。素敵な機会を有難うございました。ケルティックハーブ奏者 松岡 莉子

第三部 バーンズナイト・セレモニー



種子田 敦子氏に調理していただいた「Haggis」



Colin Macleod 理事による Burns Night Ceremony の解説

第3部は Burns Night Ceremony でした。まず、理事の Colin Macleod 氏による、スライドを使った概要説明がありました。その後、いつもスコティッシュ・キッチンを開催されている種子田敦子氏が調理した Haggis への入刀が行われました。そして詩の朗読と、Dominic Skelton 氏による Bagpipe 演奏があり、会場は大変盛り上がりしました。次は、顧問の綱島実氏(ロキヤロン社日本代表)から提供されたタータンストールが当たる Lottery が行われました。綱島氏からは景品のタータンについての由来の説明もあり会場が湧きました。最後に閉会の言葉として、名誉会長の関 妙子氏より、約150名のオンライン参加があった事が伝えられ、皆様への感謝の言葉と、会長の Stephen Baker 氏によって JSA は更に発展すると確信しているとのお話があり、大盛況のうちに幕を閉じました。

Stephen Baker 会長からのメッセージ



Dear JSA members, it is my pleasure to be able to write this greeting to you all as we move into the summer of 2021. COVID has affected all of us to a degree that we could not have expected when this all started. But I'm pleased to say that it did not stop us from holding SCOTLAND DAY in Japan on the 28th of March. As you will see in this newsletter the event was made possible through the help of our friends such as Former Edinburgh Consul General Mr Masataka Tarahara, who enriched the event with their inspiring performances. It was a really great event to launch us into 2021 with a new program of activities that allow us to celebrate the historical and contemporary relationship between Japan and Scotland.

SCOTLAND DAY in Japan was attended by some 60 people in person at the venue and around 150 people virtually through zoom. I am determined that we continue this approach with a full program of activities that members will be able to join in person or virtually. We are purchasing some equipment to enhance and improve that virtual experience. Shortly we will send out a questionnaire to ask you to let us know what you would like to see from JSA and to invite you to volunteer to help with that programme of activities or contribute a new element yourself. Let us all bring the relationship between our two nations alive through active participation in 2021.

松永大介前総領事との懇談

2016年から2018年、在エディンバラ日本国総領事を務められ、その後駐エチオピア特命全権大使になられ、2020年10月にご帰朝。退官された松永大介氏をお迎えして、昨年11月Baker会長と私で、エディンバラ総領事時代を中心に懐かしいお話をさせて頂きました。Baker会長はSDI日本代表として松永氏とは総領事時代から長い交流があり私は母校のStirling大学へのご支援で大変お世話になりました。



大学での2017年のJapan Weekで「The Zen Way」のご講演をいただいたこと、2018年には総領事館から公邸シェフを派遣、お寿司の作り方のデモンストレーションなどの協力をいただきました。日本人大学生の語学コースのOpening Ceremonyには必ず出席して下さるなどその姿勢に素晴らしい外交官としてのあり方を学ばせていただきました。これからは、JSAの名誉会員としてご支援いただけることを心強く思っております。

松永氏を囲んで

(関)

新駐日英国大使ジュリア・ロングボトム氏 2021年3月就任されました



JSA offers a very warm welcome to the new Ambassador to Japan, Julia Longbottom.

It gives me great pleasure that Julia is back in Japan for her third time as a member of the British Embassy in Tokyo. The first time Julia came to Japan was in 1990-1993, although I was a frequent visitor to the Embassy, at that time. I did not have the opportunity to work with Julia until her second term in Japan as Deputy Head of Mission 2012-2016. There has been succession of Ambassadors to Japan since James Bruce, 8th Earl of Elgin was appointed as the first. In the library in the Embassy there are photographs of all the Ambassadors that followed - all men - until the appointment of Julia. I'm sure that when Julia first came to Japan as political second secretary, she never dreamed that in the future she would take the reins as Ambassador. Knowing Julia today, it does not surprise me at all. Ambassador, a very warm welcome to Japan! (Baker)

株式会社トンボ 近藤社長との懇談



左から綱島氏、関、ペーカー会長、近藤氏、山本氏

JSAの活動の柱の一つである奨学金に2018年以降多大な支援をいただいている株式会社トンボの近藤知之社長が、昨年10月にJSA会長に就任後のペーカー氏とJSAとの今後の連携などについて親しく話をされました。JSAタータンのバッグを作製していただいたアカツキ商事の山本克成社長、ロキヤロン社日本代表でタータン登録に大きな貢献を頂いたJSA顧問の綱島実氏と私も参加して有意義な時となりました。近藤氏はタータンの登録などを通じてSDI日本代表としてのペーカー氏とはすでに長いお付き合いがあり、今回のペーカー氏のJSA会長就任を心から喜んでいらっしゃいました。近藤氏は、株式会社トンボが「WE LOVE トンボ絵画コンクール」や「トンボ 1129 デザインコンクール」などのイベントを通して青少年の育成に取り組んでいることなどに言及され、会社にとって社会貢献が重要な部分を占めていることを強調されました。年間100万円という多額のJSAトンボ学生服奨学金(大学生・高校生対象)をJSAに託していただいている理由がよくわかりました。昨年はコロナ禍で、残念ながらスターリング大学での高校生の夏期英語研修は中止となりましたが、今年の夏は8月2日から2週間のオンラインコースの開講が決まりました。コースの詳細はこのニューズレターのP12に掲載してあります。4月中旬にはJSAのHPを通じて募集を始めます。スコットランドの国立大学から直接提供される本格的な高校生対象の英語研修コースは大変貴重です。大変手厚い奨学金が支給されます。会員のお子様など、是非ご応募していただきたいと思っております。(関)

★最新メールの一部を切り取ったもので

エディンバラ総領事館からの 天皇誕生日記念ビデオ配信



例年、エディンバラ総領事館がスコットランドの名士や現地在住の日本人を招待してパーティーを開催し、盛大にお祝いをする天皇誕生日ですが、新型コロナウイルスの蔓延のためにロックダウンの続く今年は大人数を集めることが規制されています。パーティーの代わりに総領事館特製ビデオの視聴にてお祝いしました。

君が代の厳かな演奏からはじまり、高岡総領事から、パンデミック下でも日本とスコットランドの交流は続き友好関係が深まっている、というお話がありました。次にスコットランド議会の Presiding Officer of the Scottish Parliament である Ken Macintosh 議員が、トマス・グラバー、「日本の灯台の父」リチャード・ヘンリー・ブランドン、竹鶴政孝、ダンディーのV&A博物館を設計した隈研吾氏など、過去から現在まで両国の架け橋となる文化的遺産を残した人々について振り返りました。

次に同じくスコットランド議会議員で Cabinet Secretary for Economy, Fair Work and Culture の Fiona Hyslop 氏と Cabinet Secretary for the Constitution, Europe and External Affairs の Michael Russell 氏からの祝辞があり、スコットランド産牛肉が日本に23年ぶりに輸入されることになったことをはじめ、現在105社の日系企業がスコットランドで8000人の雇用を継続していることなどを含め、今後もデジタルと気候変動の改善の面で日本との協力を進めていく意思表示をなさいました。

その他、Federation of the Order of Scottish Samurai Awards を創設した Ronnie Watt 氏や Japan Society of Scotland の Iain Gow 教授も登場しましたが、最も印象深かったのは高岡総領事がお話しなさった、日本とスコットランドが今後コロナ禍のトラウマから回復していくうえで大切な三つのコンセプト、「Resilience」、「Peace of Mind」、「International Friendship」です。両国の交流を続けるうえでも参考になる考え方だと感じました。最後に日本の現代的な風景や伝統芸能などをまとめた美しい映像が流れ、記念ビデオが終了しました。来年は大勢が集まってお祝いをできることを祈っています。(松原)

ベーカー会長と杉山文彦氏の対談

2021年1月時事通信社本社にてスコットランドを代表する人物としてベーカー氏が杉山文彦氏からインタビューを受けました。杉山氏はニューデリー特派員、カイロ特派員として、アフガニスタン内戦や中東情勢など途上国の問題を幅広く取材。パリ支局長、外信部長、編集局総務を経て2016年から解説委員を務められています。

編著に「世界テロリズム・マップ 憎しみの連鎖を断ち切るには」(平凡社新書)などがあります。インタビューの内容を、スコットランドの社会・文化、日本との関係など包括的に素晴らしい筆致で書かれた記事にしてもらっています。JSAのホームページに全文を掲載していますので是非お読みください。(関)



<https://jpn-scot.org>



スターリング大学・マコーマック学長 ナイトの爵位(Sir)を授与!

2021年1月、マコーマック学長がナイト(Knighthood, Sir)の称号を受けられ Sir Gerry McCormac となりました。ご承知の通り、英国の中では最高位の称号で、本当に限られた方にしか授与されません。マコーマック学長は日本への関心が高く、学長就任後、過去8年で来日は10回以上を数え、JSA主催の第1回 SCOTLAND DAY (2016年)では講演もされています。さらにJSAの英国大使館での総会にも何度か参加され、会員の方々と親しく話されているので覚えていらっしゃる方も多いと思います。学長は、さらにJSAと連携し、2013年以来、日本の社会・文化の紹介を目的とした「Japan Week」の開催の指揮を執り、毎年2月中旬の1週間、Stirling大学には学生だけでなく延べ1000人を



超える地域の方が参加するEVENTに育て上げられました。同時に大学で日本語クラスも開講、現在約200人の学生が学んでいます。Stirling大学の渉外局長の Kerry Bryson 氏にナイト爵位を授かった理由など中心に記事を書きいただきました。記事の中でもJapanに触れられていますので、是非お楽しみください。JSA名誉会長 関 妙子

2014年、2020年に授与されたQueens Anniversary賞のメダルを持つマコーマック学長と関 / 2020年3月 学長室にて

Kerry Bryson (スターリング大学 渉外局長)

Professor Gerry McCormac, Principal and Vice-Chancellor at the University of Stirling has been honoured with a knighthood in the UK's 2021 New Year Honours list. This accolade has recognised the contribution that he has made to the local and regional economy in Scotland. Today, the University generates around £380 million per annum for the economy which is an increase of 90 per cent on an impact review carried out in 2011. Over the last decade, Professor Sir Gerry McCormac has led the transformation of the student experience and overseen a significant improvement in Stirling's research and international presence and visited many of the University's partners and friends in Japan. He has led the regeneration of the University estate - including new student accommodation, the INTO Stirling building and the redevelopment of the world-class sport facilities which opened in November 2020. In addition, the current development and extension of the Atrium, known as Campus Central, will be completed in Autumn 2021. Professor Sir Gerry McCormac said he felt very honoured to receive this recognition and is indebted to the staff, students and alumni whose hard work and dedication have made the University what it is today.

「キルトの国の進取精神」 時事通信解説委員 杉山文彦



私の娘はヨーク大学で英文学の研究をしています。3年前、娘の様子を見に行ったときに初めてスコットランドへ足を伸ばしました。エディンバラ城を下り古めかしい街並みを抜けた所に、真新しい前衛的な建物があり、それが議会だと聞いて驚いたのを覚えています。この地の人々が伝統に満足せず、常に新しいものめざしているシンボルのようなものでした。産業革命の成功にもつながったスコットランド人の進取の気性は、どうして創られたのでしょうか。キルトのネクタイ姿で東銀座の弊社に現れたスティーブ・ベーカー会長は、「強力な教育制度」と「幅広い国際交流」という二つの要因を明快に指摘されました。とても分かりやすく笑顔でお話くださり、すんなり原稿を書けた気がします。それにしても、日本の文明開化にスコットランド人の青年たちが果たした役割の大きさには感服するばかりです。このような史実を知る機会をいただいた関妙子名誉会長に厚く感謝申し上げます。

2020年度奨学生 現地からの報告

2020年秋にスコットランドの大学で修士コースを開始したJSAの奨学生から、留學生活の様子について報告が来ました。コロナ禍でスコットランドに渡れていない奨学生もおりますが、春が少しずつ訪れている現地の様子と共に、修士論文執筆に向けた意気込みを語って頂きました。

日本スコットランド交流協会奨学金

星 貴仁 (University of Glasgow 航空宇宙工学)

留學生活も半年間を終えて、現在は二学期も終盤に近づき、まもなくイースター休みに入ります。コロナ自体少しずつ落ち着きつつありますが規制はまだ続いており、授業も引き続きオンラインです。寂しかった一学期と比べ二学期はグループワークを通してのコミュニケーションや寮内の同じフロアにも入居者が増え定期的に一緒にランチをするなど限りある生活の中で留學の醍醐味を経験しています。そしてテスト終了後5月頃からは修士論文の作成に入りますがテーマも決め自分の興味のある分野の研究をできることにワクワクしています。後半の留學生活も後悔しないよう一日一日頑張ります。

日本スコットランド交流協会 トンボ学生服奨学金

小山 光晶 (University of Edinburgh 国際関係論)

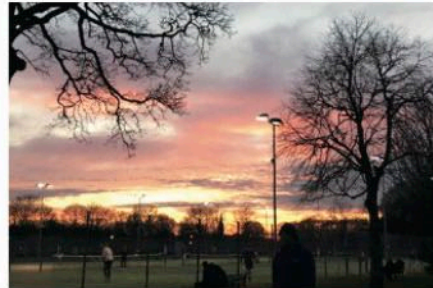
2020年度奨学生の小山光晶です。現在は二学期の各授業の最終エッセイに取り組んでいます。一学期に比べると二学期は参加型の活動も多く、授業以外に短期コースも取ったため充実した日々を過ごしています。12月末にロックダウンに入って以来、寮生以外とのコミュニケーションや外出する機会が減ってしまいました。図書館においても本の貸し出しが禁止となっており、教材を全て電子書籍で閲覧するため毎晩夜は目の疲労がたまります。定期的な散歩や運動を行うことで身体の調子を整えるようにしています。今後状況が良くなるのを信じてまずは二学期を乗り切ろうと思います。



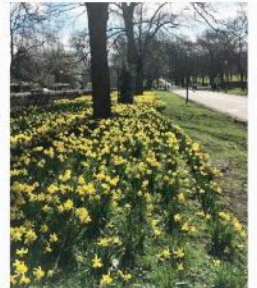
ある土曜日の市街地ですがあまり人が...

額賀 まき子 (University of Edinburgh 英語教授法)

早いものでエディンバラに来てから半年が過ぎ、イギリスでの生活にも、コロナ禍での生活にも幾分慣れて参りました。現在は2学期が終盤に差し掛かり、この後の最終学期は学びの集大成となる修士論文の執筆に専念していくことになります。街はロックダウン中ということで、開いているお店は限られますが、人々は割と自由に活動している印象です。奮闘をしいられることも多かったここまでは、時間の経過とともに大学院生として過ごす日々や研究がたまらなく楽しい!と思える瞬間を迎えることができ、非常にありがたく感じております。



ある日のMeadow。夕景が非常にきれいでした



春の訪れを告げる daffodil が道端に咲き誇っていました

渡辺 一樹

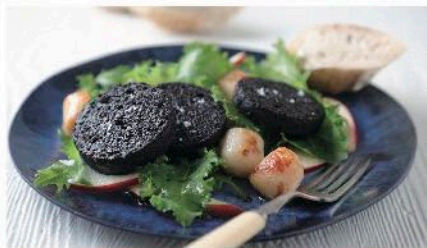
(University of Edinburgh 哲学)

もう長いこと iPad の壁紙にしていたエディンバラの街に辿り着くことなく、一学期が終わりました。イギリスではコロナ変異株が跋扈し、エディンバラ大学でも二学期の対面授業と夏の卒業式の中止が決定されました。留學も、すべてがリモートになってしまいました。自宅での時間が増えたぶん、研究に力を入れました。エディンバラ大学哲学の学生ジャーナル PENSE に論文を載せるなど。修士論文計画も無事提出しました。コロナに悩まされた留學生活、せめて学業だけは順調に終えたいものです。



近所のショッピングモールの入り口 入場制限が...

The Isle of Lewis By Colin Macleod (Board member of JSA)



The Isle of Lewis is an island in the north-west of Scotland, and it's part of a chain of islands called the Outer Hebrides. Lewis is the most populous island, but only about 18,500 people live there. It's most famous for three things: Harris Tweed, the Callanish Stones, and black pudding.

Harris Tweed is a beautiful and distinctive textile that has been woven in Lewis, Harris and other small islands in the Outer Hebrides for several centuries. Each Harris Tweed pattern is unique, but unmistakably Harris Tweed. During the cooler months, you can often see many items of clothing and bags made from colourful Harris Tweed. My father was a Harris Tweed weaver for over 30 years, so it's a product that is very dear to my heart.

The Callanish Stones is a 5,000-year-old stone circle in the village of Callanish in Lewis. The stones are in a beautiful location at the top of a hill and can be seen for miles around. There are many theories that try to explain why this stone circle was built, but I will leave you to dig deeper into that!

When I visit the stones, I love trying to imagine what life was like for the people who erected them five millennia ago. If you are a Disney fan, you might recognise the stones from the movie Brave.

Lastly, there is black pudding. Usually, when I tell Japanese people about black pudding, they get quite excited because they think that it's a sweet dessert! In fact, black pudding is a blood sausage made in Lewis from pork blood, pork fat and cereal (usually oatmeal or barley). Blood sausages are probably one of the oldest types of sausage. Blood has many essential nutrients in it, so in order not to waste it, it was used to make a pudding. Charles Macleod Butchers in Stornoway is the most famous producer of black pudding, so make sure you try it when you next visit Scotland!



スコットランド大学紹介

スコットランドでも有名な4大学の International office の担当者から、各大学の紹介を頂くことが出来ました。また、University of Edinburgh, University of Glasgow, University of Stirling への留学経験者からのコメントも来ております。写真とともに大学や街の様子を思い描いて頂けますと幸いです。

エディンバラ大学 (University of Edinburgh)

The world-leading University of Edinburgh is globally recognised for research, development, innovation, and providing students with world-class teaching since 1583. Today the University is home to a vibrant, diverse global student community with 43,380 students and is ranked at 20th in the world (QS World Rankings 2021).

The University is located in Scotland's inspiring capital city, famous for art, culture and festivals as well as being the largest financial centre in the UK outside of London. Our city centre campuses house some of the world's most important collections, including art, musical instruments, natural history, geology, anatomy, rare books and manuscripts.

Our academics are leaders in their fields, conducting ground-breaking research in over 135 research centres that directly informs teaching across 400+ undergraduate and 300+ postgraduate degrees. Employers value our graduates for their intellectual ability and highly developed transferable skills (top 50 in QS Graduate Employability Rankings 2020).

美しい街並みの中にあるエディンバラ大学での学生生活は私にとって忘れられない経験となりました。豊かな自然、美術館やスコットランドならではのイベントなどを楽しみつつ、勉強に打ち込むことができる環境です。(小山)

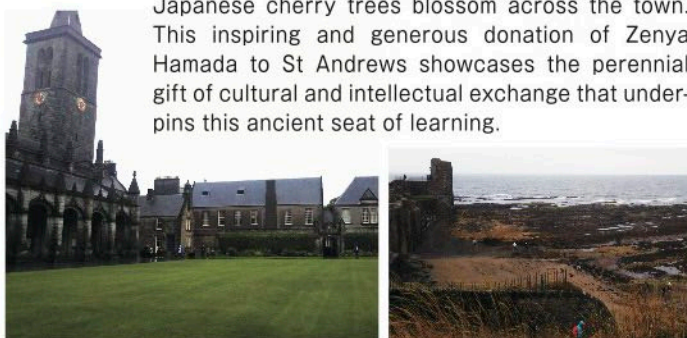


セント・アンドルーズ大学 (University of St Andrews)

The University of St Andrews was founded in 1413 and has more than 600 years of history and traditions. Considered one of Europe's leading institutions for teaching and research, the University attracts students from all over the world. Our student population of 10,000 represents the more than 130 countries, including Japan.

St Andrews is a world Top 100 University and ranked 2nd in the UK in The Guardian University Guide 2021. Life here is centred around an internationally renowned teaching system, but it's the additional opportunities only St Andrews can provide that creates the unique experience we offer.

The University is located in the mediaeval coastal town of St Andrews, where town and the campus are merged in a thriving, close-knit community. Beautiful and historic buildings sit alongside world-class research facilities and long sandy beaches border world-famous golf courses. And, each Spring, our special connection with Japan is revealed as one thousand Japanese cherry trees blossom across the town. This inspiring and generous donation of Zenya Hamada to St Andrews showcases the perennial gift of cultural and intellectual exchange that underpins this ancient seat of learning.



グラスゴー大学 (University of Glasgow)

Founded in 1451, The University of Glasgow has been changing the world for 570 years. We've fostered the talents of seven Nobel laureates, two UK Prime Ministers and Scotland's First Minister. We have always been at the forefront of innovation, and our past achievements inspire our current world changers. With almost 30,000 students from over 140 different countries, the University is a melting pot of ideas and innovation.

A world Top 100 university, the quality of our teaching is reflected across our range of subjects. We are No. 1 in the UK for Accounting & Finance, Education, Nursing, Dentistry, Sports Science, Film & TV Studies, Theatre Studies and Veterinary Medicine (Complete University Guide 2021). A Russell Group institution, the University is recognised internationally for its research and has inspired thinkers from eminent scientist Lord Kelvin to the father of modern economics Adam Smith.

Glasgow is Scotland's largest city and the world's friendliest! (Rough Guides 2019). One of Time Out's Top 10 "Best Cities in the World in 2019". With a wealth of cultural attractions, stunning architecture, abundant green spaces, fantastic shopping and a year-round programme of events and festivals, Glasgow is firmly established as one of Europe's most vibrant cities.

長い歴史の中で多くの偉人や有名人を輩出してきたグラスゴー大学ですが、街全体はフレンドリーな雰囲気に包まれております。教育学を専攻した私にとって、この地で世界中の教師と交流しながら勉強に打ち込めたのは素晴らしい経験でした。(小根山)



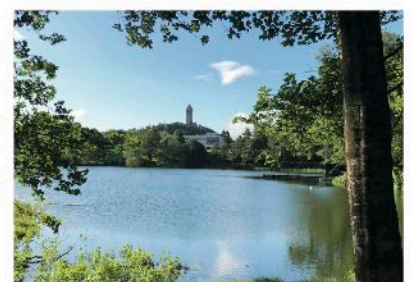
スターリング大学 (University of Stirling)

The University of Stirling is a global institution based in the heart of Scotland. Stirling is a place where ability - not background - is valued, and teaching, employability and facilities are all rated five-star (QS World University Rankings 2021).

Stirling's campus is located on the shores of Airthrey loch by an 18th century castle. The city of Stirling features a castle, sports village and vibrant shopping area and is only a ten-minute bus ride from the campus. The university also has some of the finest sports facilities in the UK (The Times and Sunday Times UK Sports University of the Year 2020) including a brand new £20 million sports centre that first opened its doors in November 2020.

With more than 220 undergraduate course combinations and over 90 postgraduate courses, we prepare our graduates for success in the workplace. International students can also take advantage of the university's dedicated English language tutors and pathway programmes at the INTO Centre. Discover a variety of academic preparation programmes and English courses that are proven to help international students prepare for - and transition to - a wide range of undergraduate and postgraduate degrees in Scotland.

スターリング大学は、非常に素敵な大学です。大自然に癒されながら、世界中から集まる学生達と共に学んでいく日々は、人生を豊かにしてくれます。互いを尊重し、さらにその「違い」を超えた関係は一生ものです。(北村)



Sean Michael Wilson氏、SCOTTISH SAMURAI AWARD 受賞



され、同年のJSAのSCOTLAND DAYで講演をしていただきました。作品の多くは、日本のみでなく、英国、アメリカなどでも、さまざま賞の対象となり、新聞などでもそのユニークな作家活動が取り上げられています。以下、Wilson氏からのメッセージです。(関)


Recently I received a 'Scottish Samurai Award' from the OSS (Order of the Scottish Samurai), a group that promotes and celebrates connections between Japan and Scotland. I got the award for my 14 manga style books on Japanese history and culture. It feels good to get the award on behalf of my books, which I have made with a variety of talented Japanese artists. Past recipients of the Scottish Samurai award include the comedian Billy Connolly, the Scottish National Party leader, actress Joanna Lumley and a Prime Minister of Japan. The patron is Lord Bruce, descendent of King Robert the Bruce.

This photo shows me with the certificate and medal, in my Gunn Clan tartan kilt (the Wilson family is part of that clan).

JSA会員のWilson氏が、2020年度のSCOTTISH SAMURAI AWARDを受賞されました。Wilson氏は2017年にSecrets of the Ninja『忍者の秘密』で日本国際漫画賞を英国人として初めて受賞

支部長ご紹介 各地でJSAの活動を支えてくださっている 関西、東北、九州、スコットランドの支部長をご紹介します。

関西支部 香川 久生




JSA発足当初から、関西支部は「楽しさ」を前面に出して、Maud Nomiya氏や武部好伸氏を始めとして多くの人々の支えで活動して来ました。コロナ禍で関西支部の活動がままならないのは残念至極ですが、またスコットランドを訪問出来るのを夢想しながらスコッチウイスキーを嗜んでいる今日この頃です。

九州支部 前原 正人




2008年頃にある会場での関先生との出会いがJSAとの関りの始まりです。中・高で僕の先輩だという事がわかり、関先生の次世代を担うグローバルな若者の育成に共感して、この会に参加させていただいています。お陰でヨーロッパ中のケルト文明を訪ねる事が出来ました。* 左からマコーマック学長・宮崎公立大学林学長(当時)・関先生・前原

東北支部 香取 真理




東北支部の香取です。どうぞよろしくお願いたします。東北支部がある青森市は、東京から飛行機で北に約1時間、ロンドン・エジンバラ間に近い距離です。また、年間平均気温も11℃と、夏の間も比較的涼しく、気候的にもスコットランドに近い所です。主に大学での活動などを通して、スコットランドを東北地方へ発信して行きたいと思っております。

スコットランド支部 松原 衣里



2020年の3月以来、美術館や劇場、映画館が閉鎖しやっと再開しても次のロックダウンでまた閉鎖という状況の一方でオンラインの展示会、演劇、セミナーなどが充実し世界中どこからでもアクセスできるようになりつつあるのは喜ばしいことです。



◀ National Museums of Scotland
National Theatre of Scotland
Museums & Galleries Edinburgh
*お手数ですが「検索」をお願いします

Cullen Skinkをつくってみました

スコットランドの国民的な詩人ロバート・バーンズの誕生を祝うセレモニーを詳しく紹介しているサイトの中で紹介されていたスコットランドらしいお料理の1つ「Cullen Skink」カレンスキンをレシピを見ながら作ってみました。この乳白色の魚のスープは美味しくて有名ですが、一度も食べたことがありません。それは材料の燻製したコダラが日本では手にはいないからです。今回は、コダラの代わりにスモークサーモンを使って作りました。(光) *JSA会員への一斉メール参考



材料 長ネギ1本(長さ2cmの輪切り)、ジャガイモ200g(皮をむき2cm角に切る)、スモークサーモン300g、魚のコンソメスープ1ℓ、ローリエ1枚、生クリーム大さじ2、オリーブオイル大さじ1、黒胡椒少々、あさつきみじん切り少々

- 作り方**
- 1 / 鍋を温め、オリーブオイルをいれる。切った長ネギをいれ静かに柔らかくなるまで数分いためる。そこにスープ、ローリエ、ジャガイモ、スモークサーモンを入れ、黒胡椒で軽く味付ける。ぐつぐつと15分煮る。
 - 2 / 紹介されたサイトでは、ここでコダラを引きあげて、皿の上で皮と骨をとりのぞきます。冷めたさかなをほくし鍋にもどす。(今回はスモークサーモンを使ったのでこの工程ははぶきます)
 - 3 / 鍋の中身をミキサーに入れて攪拌する。そして鍋に入れ、生クリームを加え、2、3分ぐつぐつと煮る。もし必要ならば黒胡椒を加える。お皿に盛り、飾りにあさつきを散らす。

*ジャガイモのところがおいしいスープです。スモークサーモンの特長的な味がしました。魚の量を少し減らしてもよいかもしれません。

『オンライン英会話 Tea Time English Online』のご報告

2021年1月より、ニュージーランド在住でデザイン会社を営んでいらっしゃる Robert Macfarlane 先生にご協力頂き、毎月第2土曜日 16:00 - 17:30 にオンライン英会話を開始する運びとなりました。Robert 先生ご自身のルーツがスコットランドにあることや日本に5年間住まれた経験から、毎回JSAの皆様親しみやすい話題を提供して下さいます。参加者の方々も、ご自宅からリラックスして楽しく会話に参加頂いているようです。

参加者の方からも以下のように感想を頂きました。



Zoomを使用しておりますので、東京本部の近くにお住まいでなくてもご参加頂けます。ご興味のある方は是非ご参加下さい。参加方法など詳しくはホームページをご覧ください。

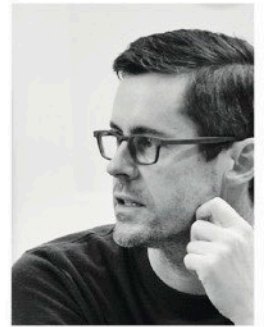
Robert 先生を始め、皆さんのおかげで楽しいひとときを過ごせました。話題が多岐に渡り勉強にもなりました。先生がその時に出た話題を皆さんにふって更に広げられたのも良かったと思います。先生が使っていたらっしゃった表現のメモを取りましたので復習致します。またの参加を楽しみにしております。(関西 Y.G. 様)

先生はニュージーランドにおられるので、日本とは季節が逆の様子を伝えてくださいます。また、英語の様々な地域のアクセントについて知ることができました。会話表現で、ニュアンスの違いなど検索ではわからない事を質問させていただきました。丁寧なご回答はとても貴重だと思います。(SAITO Shiho)

■ Robert Macfarlane先生からのコメント

These days we are more adept at using online video software. This has been the perfect forum for Tea Time English, a group of JSA members who login every second Saturday of the month to take part in a 90 minute English conversation. My association with Japan started about 30 years ago when I went to Japan on a three-week trip with my high school year group. Like many New Zealanders I have Scottish heritage and have very much enjoyed visiting Scotland in the past—it feels just as much like home as does New Zealand. After spending approximately five years living in Tokyo until 2002 I make it a point to stop over in Tokyo en route to the UK when I take trips there. Tokyo is a good midway point for the two long flights we must take to travel from Auckland to Narita (11 hours) and Haneda to Heathrow (12 hours). It's the perfect resting spot for us (I often travel with my mother). We love to visit Tokyo and other areas in Japan. For us Japan offers a chance to meet old friends and acquaintances and see the latest design trends in this design conscious nation. As an interior designer, Japan and Scotland provide me with a lot of inspiration. Some of my best memories of Scotland were visiting Holyrood House and the royal yacht Britannia.

It has been a pleasure to meet JSA members online over these past months and talk about all kinds of topics. We have talked about current affairs, historic matters and the nature of English. I would encourage any member of the JSA who is interested to register. It would be a pleasure to meet you online where we can talk about Scotland, Japan or any other topics of interest.



皆川 明氏『風景の色 景色の風』を訪ねて



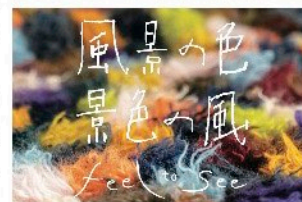
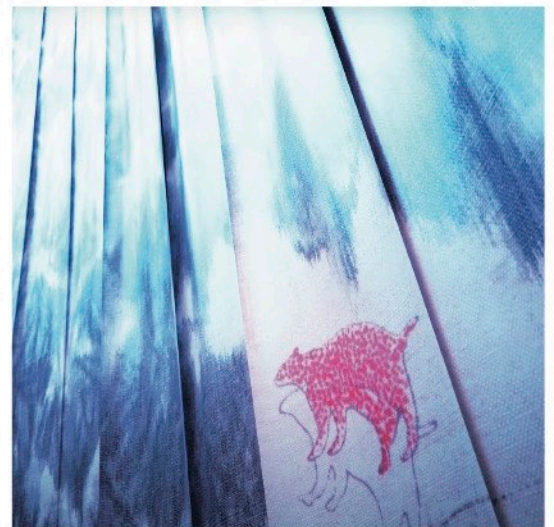
光、皆川氏、関氏、網島氏

2020年11月18日、表参道スパイラルで開催された「風景の色 景色の風 feel to see」に関名誉会長、網島実氏、光で伺いました。らせん状の展示室には「ミナ ペルホネン」の機軸をなしているテキスタイル(生地)が高い空間に数々吊り下げられており、その卓越したデザイン性と、染色、織の技術を間近に見ることができます。

皆川氏から注文を受けた地方の織物染物工場の生産中のビデオ放映もあり製造工程の複雑さに皆川氏の思いが感じられました。

スパイラルの5階には「ミナペルホネン」のshop「call」があり、服、家具、食品を通して皆川氏のコンセプトに触れることができます。

屋上につらえられたカフェで長い間皆川氏とお話することができ、星の见えない青山の空の下、貴重な時を過ごしました。(光)





JSA 新理事 石川晃士氏ご紹介



2020年12月に石川晃士氏が理事に就任されました。石川氏はJSA発足当時の会員で、2016年から2020年まで監事を務めていただきました。今回、奨学金制度が拡充している中、教育界で活躍されている石川氏に理事として加わっていただけることを心強く思っています。(関)

My name is Koji Ishikawa, associate professor at Tamagawa University, Tokyo. I have experiences staying at Stirling in 2004-2006 and my wife is also alumna at the University of Stirling. In my university, I lecture on International Development and International Cooperation for Agricultural Development.

Besides teaching at the university, I have been engaging the science and technology diplomacy program promoted by Japanese government (Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development), and also supporting the efforts made by SMEs and other actors to develop internationally competitive personnel as a development practitioner.

I am passionate about educating students to be global minded people in today's globalized world. As a JSA board member, I am happy to support young generation in making their study in Scotland. I truly believe that students who study in Scotland become the next generation of globally-minded leaders in our society!

JSA 東京 コロナ禍での活動と SCOTLAND DAYの準備

3月28日に開催されたSCOTLAND DAY in Tokyo 2021の準備のため昨年後半からZoomを使ってのスタッフミーティングや学生会館に赴いての事前確認など、当日に向けての準備を重ねました。今年のSCOTLAND DAYでは初のオンライン配信を行うこととなりました。幸いにもベーカー会長がオンライン配信の経験が豊富でITにも詳しく、その指揮の下、会場での何回かの試行の際には当初四苦八苦だったスタッフも、本番では無事配信できホッとしています。これからはオンライン配信を活用することで、会の活動の幅が広がることを確信しています。マスクを着用、距離を取っての本部での作業の様子もご覧ください。



新改理事のZoomセッティング作業を見守る関名誉会長とスティーブン会長



ニュースレター発送作業でもコロナ対策でマスクが外せないスタッフ一同

JSA 九州 オンラインでの交流

今年度はコロナの影響のため、夏季語学研修に学生を参加させることはできませんでしたが、本学の学生1名が9月～12月まで、スターリング大学のプログラムに公費派遣留学生としてオンラインで参加しました。美しいキャンパスで直接学ぶことができないのは残念ですが、しばらくはオンラインでの交流が中心になっていくかと思われま。また、9月には本学とスターリング大学の学術交流の確立に貢献されたJSA九州支部長の前原正人氏が、宮崎西ロータリー・クラブよりサミット賞(国際奉仕賞)を授与されました。氏の

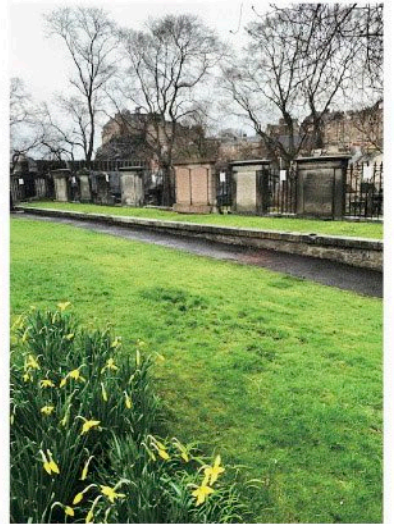


尽力に感謝の意を表し今後とも本学とスターリング大学が友好的な関係を築いていけるよう、努力いたします。
(宮崎公立大学助教 村上 幸太郎)

JSA スコットランド 春の気配が...

3月に入り、エディンバラもやっと春の気配がしてきました。街角の公園はもとより、メドウやプリンスイズガーデンにも水仙やクロッカスが咲きほこっており、新型コロナウイルスの動向に一喜一憂する世の中であっても、草木はすくすくと成長して四季の移り変わりを教えてくれることに感謝の気持ちが沸き起こります。4月26日からスコットランドでもお店やレストランが再開し、平常の生活への第一歩が始まります。

(松原)



Greyfriars Kirkyard からエディンバラ城を望む

JSA 東北 異文化交流イベントを開催

2021年3月6日(日本時間午後8:00より)、スターリング大学の学生と日本の大学生との異文化交流イベントが開催されました。イベントはインターネットを通して行われ、スターリング大学で日本語を学ぶ約30名の学生と日本の大学生約30名が参加しました。

青森公立大学からは経営経済学部の学生5名が参加し、日本語と英語の両方を使いながら意見の交換をしていました。様々な文化的背景を持つ学生との交流は、青森公立大学の学生にとって、とても良い経験になりました。(香取)



JSA 関西 コロナ禍で自粛を…

2020年度は支部の活動は全くできませんでしたが、関西ハイランドゲームズが10月にFacebook上で開催したthe Hallowe'en carving contestに会員が参加しましたので、紹介いたします。それぞれ入賞し、スコットランドのビスケット Walker'sの賞品を獲得しました。(香川)



中井 明彦 作「瓢箪のランタン」

香川 ヒサ作「ランタンと私」
「私」は
魔女ではなく、
ハギス
ホイッスル香川 久生作
「ウイスキーを
護るランタン」

昨今のSNS上では「今年の今頃は」とか「数年前の今頃は」という言葉が飛び交っています。当たり前のように行われていた催し事などが格別にも思われてきます。6年前の2月にはスターリング大学の Japanese Week 2015に関西支部の会員・歌人 香川ヒサ氏が参加し「日本の定型詩」について講演しました。その時披露したスコットランドを題材にして詠んだ短歌の一部を紹介します。(右3首)

Stirling Castle

The jail on the left hand,
and the graveyard on the right hand,
the castle soars under the blue sky.
The castle belongs to the King,
when he carved the crown
on a wedge-shaped stone of the arch.

スターリング城

左手に牢獄右手に墓地ありて
城が聳ゆる青空の下
城塞は王のものなり
王冠をアーチ
楔石に刻めば



Glencoe

Rock mountains
that have existed since 300 million years ago
and a man walking now on the ridge,
are also the landscape of Glencoe.
The history of the massacre in the valley
brought to mind
a quiet scenery in the twilight.

グレンコー

三億年前よりあった岩山も
尾根行く人も風景である
大虐殺の歴史のあれば
峡谷に静かに暮れてゆく今日がある



Brig O'Balgownie

Rock mountains
It must have been already an old bridge
at that time,
when the Boy Byron often visited.
The bridge built over the river
as the only way to the town,
was possessed by demons.

ブリゴバルガウニー

その頃も古き石橋
少年のバイロンがよく来た石橋
魔物棲む石の橋なり
街に入る唯一の道と川を跨げば



表紙の写真のおはなし



White and purple crocuses in front of Kelvingrove Art Gallery and Museum in Glasgow. March 18, 2021

“どんな晴れの日も100%活用”がスコットランドの流儀

曇、雨、嵐の日が多いスコットランドでは『今日もひどい天気ですね!』なんて会話は日常茶飯事なのですが『スコットランドでは晴れの日を見つけたら積極的に活用しなさい。それは貴重なものだから!』と、あるスコットランド女性にアドバイスをいただいた事があります。

週末の朝、晴れた空の下で公園ランニングを行い、撮影したのが表紙の写真。さらに、その日は珍しく1日中晴れていたため、彼女のアドバイスにしたがい、夕方にも近所のミュージアムまで散歩を決行しました。そのときの様子が、左の写真です。

美しい景色に出会えた彼女へお礼のメールを送るとともに『そういえば去年の夏、ビアガーデンに行ったとき、突然の土砂降り。まわりのお客さんと一緒に笑い飛ばしながら、ビールとフィッシュ&チップスを楽しみ続けました』と思い出話をしました。すると『スコットランド流の楽しみかたね!』と…。スコットランド人に少し認めてもらえた気がして、嬉しくなりました。石橋 貴子

スコットランド在住ライター。コピーライターを20年以上経験した後、グラスゴーに3年半暮らす。スコットランドの美しい景色を撮影する事と、毎日のランニングが何よりの楽しみ。

“Terrible weather, isn't it?” This is a usual conversation in Scotland, because it's often cloudy, rainy or windy. I've got advice from my friend who is from the Isle of Lewis. “In Scotland you must take advantage of any sunny days, as they are so rare!” On a sunny Saturday morning, I ran and took the photo (cover page). As the weather stayed fine, I went

for a walk in the evening and could enjoy the beautiful scenery (left picture). I sent a thank-you email to her with my memories “I visited the beer garden last summer, and it started to rain suddenly and heavily. But all customers, including me, continued to enjoy beers.” She responded to me “Scottish fun!”

Takako Ishibashi

スコットランドをこよなく愛する写真作家 佐藤 悠氏からのメッセージ

私が紹介したいのは、ある羊使いの家族です。その中でも今回、長女Morwynnaと長男Tristanのふたりについて紹介します。出会ったのは2015年、Morwynna13才、Tristan11才の時でした。服が汚れることなど気にせず犬や羊と戯れる天真爛漫な姿にとても心を掴まれ、そして忘れていた大切なことを思い出させてくれました。それから定期的に彼らのもとを訪れ写真を撮らせてもらうようになりました。出会ってから数年後、2人の1日に同行できる日がありました。思っていたよりもはるかに広大な山野に放牧されている羊を、牧羊犬と共に探し移動させていくという仕事に同行しました。自然豊かな素晴らしい場所ですが、山や川など起伏の激しいところで、ついて行くのにいっぱいいっぱいでした。そんな足場の悪いところを、彼らは助け合って指笛と掛け声で見事に牧羊犬をコントロールしどンドン羊を移動させていくのです。2人ともまだ10代です。立派に仕事をこなし、独り立ちをしているだけではなく、生まれ育った土地を愛し、自身の仕事に誇りを持ち、代々の伝統を守り生活している様子を目の当たりにしてとても感動しました。

また、週末には所属しているサッカークラブに参加するためにインヴァネスまで通い、ちゃんと年代との繋がりもあります。伝統だけに縛られず、やりたいこともやり、その絶妙なバランスのなかでのびのびと成長していく彼らを、これからも写真として残していきたいです。



UNIVERSITY of STIRLING

スターリング (Stirling) 大学 夏期オンライン英語研修 (高校生コース / 大学・一般コース) のご案内



コロナ禍で渡航が困難な中、今年はスターリング大学の夏期英語研修コースがオンラインで開講されます。世界で初めて義務教育を始めたスコットランドの質の高い教育を日本にしながら経験するよい機会です。特に、英国国立大学が運営する高校生コースは大変貴重です。さらに、JSA高校生英語研修トポ学生服奨学金(各5万円)が24名に支給されます。奮ってご応募ください。4月中旬にJSAのホームページに応募方法など詳細を掲載します。

【高校生コース】 期間：2週間(8月2日~13日) / 費用：305ポンド

授業：60分のライブ授業(17:00-18:00、週3コマ)・90分のオンデマンド授業(各自都合の良い時間に受けられる 週4コマ)

【大学生・一般コース】 期間：3週間(8月9日~27日) / 費用：455ポンド

授業：90分のライブ授業(17:00-18:30、週4コマ)・90分のオンデマンド授業(週4コマ)

「高校生コース」と「大学生・一般コース」共に、上級、中級、初級とレベルに合わせて参加できるので英語力は問いません。

- *事前に教科書が郵送されます(上記の料金に含まれます)
- *1クラス13人以下の少人数制による丁寧な指導
- *カリキュラムにはスコットランド国立博物館へのバーチャルツアーやスコットランド料理教室などのオンラインイベントが含まれています

- *コース終了時にはオンライン卒業式が行われ、スターリング大学から修了証が送付されます
- *大学のITチームによるテクニカルサポートも受けられます



..... 協会へのご寄付ありがとうございました 運営費として大切にに使わせていただきます
 石川 邦子さま / 5,000円 / 市毛 勲さま 6,000円 / 綱島 実さま 30,000円 / スティーブ・ペカー会長 30,000円

編集後記

新型コロナウイルスの蔓延から早や1年が経ち、我々の生活も変わってきました。その1つに「オンライン」があります。JSAも英会話、SCOTLAND DAY、スタッフ会議に「オンライン」を取り入れることで、今まで参加できなかった方にも門戸を開くことができました。今後も積極的に新しい挑戦をしていきます。(飯村)



NPO法人
日本スコットランド交流協会
 The Japan Scotland Association



本文編集協力

☆東京: 関 妙子 / 飯村 英人 / 新改 僚基
 小根山 西 / 小山 舞

☆関西: 香川 久生 ☆九州: 前原 正人

☆東北: 香取 真理

☆Scotland: 松原 衣里 ☆制作: 野間 忠博 (ノーマデザイン)

NOMA
 ノーマデザイン

東京本部 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-28-1401 Tokyo Headquarters 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033, JAPAN
 関西支部 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町2-5-3-906 Kansai Branch 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082, JAPAN
 九州支部 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島2-23-2 Kyushu Branch 2-23-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032, JAPAN
 東北支部 〒030-0196 青森県青森市合子沢山崎153-4 青森公立大学 香取真理研究室内 Tohoku Branch Prof Mari Katori's office, Aomori public University, 153-4 Yamazaki, Goshizawa, Aomori-shi, Aomori 030-0196, JAPAN
 Scotland支部 12 Dryden Place, Edinburgh EH9 1RP, UK (e-mail: EdinburghJSA@gmail.com)